准組合員を「農業振興の応援団」にしていくために

准組合員に「農業振興の応援団」になってもらうためには、誌面を通じて以下の5つのことを強調し、呼び掛けていくことが大切です。

①JAをよく知ってもらい、准組合員とは何かを理解してもらう
②地域の農業を理解してもらう
③農業体験やJA祭りなどのさまざまなイベントに参加してもらう
④直売所などを通して、地元の農畜産物を購入してもらう
⑤農業や農家組合員を応援する活動に参加する

准組合員の理解度や参画度合いに合わせて、准組合員に広報していくことが必要です。春号は①～④のパターンを紹介します。

パターン1 JAをよく知ってもらい、准組合員とは何かを理解してもらう

准組合員の方に「准組合員」としての意識を高めてもらう取り組みをしていますか？ JAの自己改革の一つとして、准組合員対策に取り組んでいるJAも多いかと思います。毎月の『JA広報通信』33面に掲載している共通コンテンツは、自由に転載できます。また、JA新聞連のホームページに掲載している『別冊 JA広報通信』の農協改革特集号なども活用して、情報を発信していきましょう。

JA広島中央（広島県）『ひろしま中央』2018年5月

JA広島中央は、自己改革の目標の一つに「地域の活性化」を掲げ、新たな展開として准組合員主体の協同活動を進めています。広報誌で、准組合員が主体となったイベントなどの協同活動を特集し、地域住民と一体となった活動で、地域との結び付きを強めるJAの姿をアピールしています。